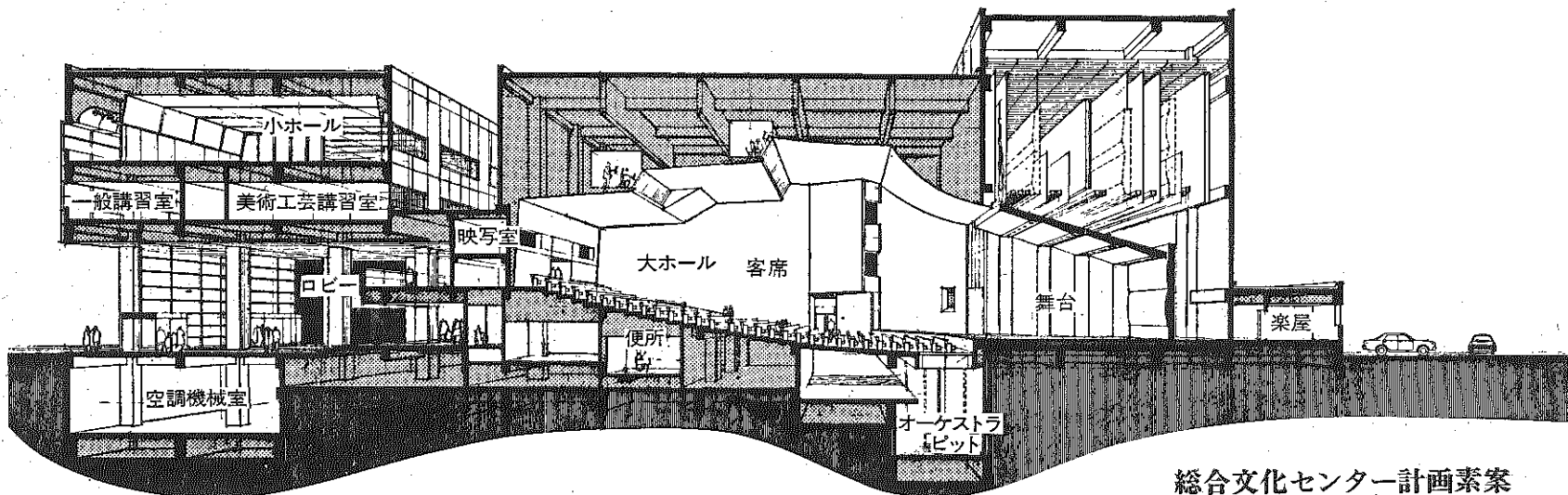


- 1 つねに市民の立場に立って、人間優先の施策を進める。
- 2 改善と創造に徹して、躍動的な施策を進める。
- 3 的確な展望に基づいて、未来につながる施策を進める。
- 4 自治の認識を深めて、市民参加の施策を進める。

- 1 地域社会の主体者として、権利と義務の自覚を深める。
- 2 生活共同体の一員として、積極的に市政に参加する。
- 3 新しい社会の創造をめざして、進歩的行動を進める。
- 4 責任と協力の市民生活を求め、つねに前進をはかる。

文化を通じて市民のふれあいを



総合文化センター計画素案

千二百席の大ホール 文化活動のひろばに

今年市制を施行して三周年になります。市では、市の基本構想に定められた、数々の文化の都市づくりの諸的計画を遂行して、図書館（現在建設中）に続き「総合文化センター」の計画を進めています。この総合文化センターは、文化館と中央公民館を中心とした施設で、文化を通じて市民のふれあいを高める目的を持っています。昭和五十八年の完成をめざし、現在、市議会や市内各団体・文化専門家などの意見を聞き進めています。また、広く市民のみなさんからも意見をいただくために、この素案の概要を特集しました。

市庁舎南側に建設される総合文化センターは、市民のふれあいを促進し、文化活動のひろばとして機能します。大ホールは千二百席を有し、市民の作品展示や公開の場にも活用されます。また、小ホールも七百人規模の研修や集会に活用されます。施設は、市民の作品展示や公開の場にも活用されます。また、小ホールも七百人規模の研修や集会に活用されます。

七百人の小ホールも ひろく研修や集会に

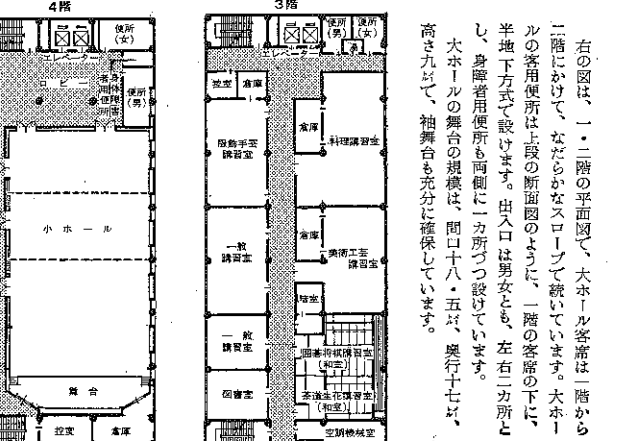
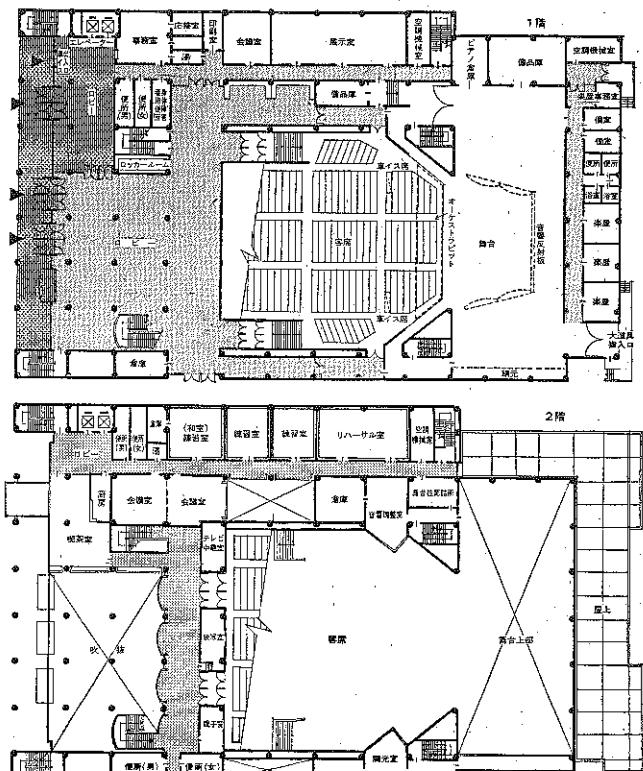
この小ホールは、市民の作品展示や公開の場にも活用されます。また、小ホールも七百人規模の研修や集会に活用されます。

計画費に国の補助金が内定

この計画は、国の補助金を活用して実施されます。計画費の内定は、国の補助金によって行われます。

専門家や市内各団体から活発な意見等が 一懇談会を開催

この懇談会では、専門家や市内各団体から活発な意見が寄せられました。市民の意見を聞き進めています。



十月一日は国勢調査

